

CONCIERGE

by Mochimaru shokuhin Co.,Ltd. 4/Apr/2022/vol.680



花かいどう桜 海棠（徳島県産）Hall crabapple

『海棠(かいどう)の睡り未だ足らず』と、中国の玄宗皇帝が、眠る楊貴妃をそのように譬えたとか。中国原産で庭木としても愉しまれている「花かいどう桜」は、美人の形容詞としても使われるぐらいに、その昔から気品のある美しい花として知られてきました。桜が散り始めると、取って代わる様に勢いよく咲き始め、花持ちが非常によく長く楽しめるということも人気の一つなのでしょう。「花かいどう桜」は一見桜かと思わせます。科目はバラ科で一緒ではあるものの、桜がサクラ属である一方、「かいどう」はリンゴ属に分類されます。濃い色で蕾を結び、咲き始めると徐々にうすいピンクへと変貌して行く様も、春霞の中にあってはとても幽玄に映る植物です。長めの茎の先に濃いピンクの蕾が付いている姿は、ヒメリンゴかサクランボの様で可愛い風情、その後花が咲きだすとグッと品のある美しさと繊やかさが加わります。軸が長いシルエットもとてもお洒落で、株ごと艶やかにあしらったり、蕾を一つ一つ外すと、まるでミニチュアの薔薇の蕾の様なシルエット、花や花びらを散らして春のニュアンスたっぷりにお使いいただけます。「花かいどう桜」、お料理に一層気品ある春の情緒を運びます。